

# 丸協にゆーす

- 丸協トピック

『新たな丸協の新型コロナウイルス感染予防対策』

- 今、知っておきたい物流topics

『物流危機回避のため 脱バイイングパワーが進む』

# 丸協トピック

## 「新たな丸協の新型コロナウイルス感染予防対策」

(本社管理部より)

全国的に新型コロナウイルス感染が拡大する中、皆様には徹底した感染予防対策を実施頂き、クラスターの発生もなく業務が行えております。心より感謝申し上げます。

環境が日々変化する中ですが、当社では、案内しております『**通達**』(最新第13版)にそった感染予防対策を継続し、**「物流を止めない」**という意識のもと従業員の皆様には引き続きご協力をお願いしたいと思います。



休憩所にパーテーション設置



体調管理記録・  
消毒換気実施記録



抗原検査キット

### 【新たな対策について】

急激な感染爆発に伴い、皆様が安心して働けるよう、新たな対策として、**「抗原検査キット」**を活用する体制を整えました。これにより、感染有無の早期発見と速やかな職場復帰の判断が可能になります。

# 今、知っておきたい物流topics

## 物流危機回避のため、脱・バイイングパワーが進む

これまで“買い手”であるスーパーは、「注文したら当日か明日には納品。注文は一個から」という、物流的には非常にコストのかかる要望を、コスト負担なく納品側に提示し、納品側はそれに対してやむを得ず引き受けるというのが多くのパターンでした。

断ったら他の卸に切り替えるということが容易にできてしまうため、まさにバイイングパワーが発揮されていたわけです。しかし、このようなやり方は「持続可能とは言えない」として、左にあげたようなスーパーは、物流に負荷をかけない方向（＝納品側に負担をかけない方向）に転換をしてきています。

これらのスーパーの共通点は、物流を自社で手掛けていることです。自社で所有・運営していればこそ、改善すべき点が見えてくるということでしょう。

取り組まれている内容は以下のとおりです。他の業界でも通用する工夫だと言えるでしょう。

- ◆ 納品リードタイムの延長・ベンダー側の都合で調整可能
- ◆ 「3分の1ルール」の緩和
- ◆ バース予約システムの導入
- ◆ 納品トラックの実車率向上のための情報提供

※資料:ロジスティクス・ビジネス他